



高森町成人式 2019.1.3



発行所
長野県下伊那郡高森町
高森町公民館
発行人
大洞利雄
☎35-9416
印刷所
龍共印刷株式会社

成人式を終えて

岩崎 奈津美

1月3日に高森町では成人式が行われました。

私は実行委員をさせていただきましたが、今日まで他の実行委員の仲間達と協力し、一生に一度の成人式を素晴らしいものにしようと努めました。

久々に会う友人達の姿を思い浮かべ、しみじみ気持ちと緊張な気持ちに思いを馳せながら準備を進めていました。

雲ひとつない天気の下当日を迎えることができ、とても嬉しく思いました。久々に顔を合わせる友人達は見た目こそ大人へと成長していたものの、内面は昔と変わらない部分が垣間見えて、自分も中学生の時に戻った気持ちになり、懐かしさが込み上げました。

祝賀会・抽選会では司会進行を任せていただきました。恩師をはじめ多くの方に盛り上げていただき、和やかな雰囲気の中楽しいひと時を過ごすことができました。

そして今回、壬生町長の

お話の中に「自由と責任」という言葉がありました。20歳を迎え新成人となり、大人の仲間入りを果たした訳ですが、私はまだまだ未熟者であると感じています。自分の行動には責任を持つという事を強く意識していかねければと痛感しました。

今年、成人という人生の節目を尊敬できる先生方や友人達と共に迎えることができ、本当に幸せ者だなと実感し、改めて感謝しなければいけないと感じました。

そしてこれからも常に学び続ける姿勢を忘れず、さらに成長していけたらと思います。

廣瀬 紗弥香

今年、平成最後の成人式でした。町長を始め、町関係者の方、公民館教養部

員の方、恩師がお越しくださり、平成30年度の成人式が開かれました。

今年度の成人式では、保育園から中学校までの給食の定番でもあった、「市田ヨーグルト」を懐かしみながらみんなで飲みたいと実行委員で提案をした。市田酪農さんにお願したところ、快く引き受けてくださり、120本提供していただきました。当日は、『ヨーグルトで乾杯!』とみんな元気な声で乾杯しました。

市田ヨーグルトをみんなで飲んでみると、中学時代を懐かしく感じる事ができ、献立はどんなものがあつたか、牛乳瓶から牛乳パックに変わったなど色々思い出すきっかけにもなりました。

足踏み入ることになりました。恥じることなく堂々と前を向いて、日々突き進んで行けるよう、立派な大人になりたいと感じました。

年頭所感

高森町公民館長 大洞利雄



新年おめでとうございませう。すばらしい初日の出、穏やかな天候に恵まれ、2019年がスタートしました。

本年は、新しい天皇が即位し、新しい元号となり、何かと変化の多い年となりそうです。皆様方におかれましては平穩なる一年、充実した一年となることをお祈りいたします。

さて、昨年公民館では活動の高齢化・固定化等の課

題を解決するために多くの世代の方が気軽に集い、主体的に学んだり、活動したりする点に力を注いできました。

○ニュースポーツである「クッパ」の体験(公民館報第612号に記事掲載)

○地域の良さを学ぶ学習の推進支援

○公民館活動への参加と活動の楽しさを発信する高森町公民館インスタ部員

に「わかもの☆特命係」を任命し、おおいに宣伝してもらおう

など新たな活動にも取り組みました。

各支館・分館におきましては、多世代の交流・自主的な活動を踏まえた企画・運営をしてくださいました。活動に参加した地域の方々、のれんが心に残っております。

昨年12月に「社会教育の振興方策について」中央教

育審議会の答申がありました。社会教育施設である公民館には、地域活性化・まちづくりの拠点として、住民参加による問題解決や地域づくりの担い手の育成等、住民の活動を支援する機能を一層強化することが求められるとの記述がありました。

そこで本年は、公民館活動の課題解決のために実践してきました昨年度までの活動を継続しつつ、これからの公民館の在り方、役割等についてテーマを設定し、学習会や活動の実践にも努力してまいりたいと考えています。

今年、私がもうひとつお願いしたのは「福祉の充実」です。一人ひとりが幸せと感じられる瞬間が一つでも多い年になりますように。



実行委員のメンバー

三面鏡

新しい年がスタートしました。手を合わせお願いしたのは、定番ではあります。が家族の健康と幸せです。朝起きたら孫の声がかえ、94歳になる母の用意してくれた漬物でごはんを食べる。ありがたい事です。振り返る毎日はいつの間にかあたり前の事になってしまい、時々そんな自分を反省しながら、ありがたさを再実感しています。

私は今、色々な事情で気持ちを病んだり、体をこわした人たちと一緒に仕事をしています。辛い事があり3年間引きこもっていた方。体障がいをもつ方も、まだまだ働いていたいと考えている方。全盲の方も車椅子の方もいます。久しぶりの仕事に緊張したり、仲間と楽しそうに話をしたり、大変な事をたくさん背負っているのに、前向きなのです。頑張る皆さんと関わらせてもらいながら、偉そうな気持ちではありませんが、皆さんはもっと楽をしてもいいのではないかと考えることがあります。仕事をし

て工賃が上がって、生活にゆとりができ、将来の夢を語れる、そんな事があたりまえになればいいのと思ひます。

今年、私がもうひとつお願いしたのは「福祉の充実」です。一人ひとりが幸せと感じられる瞬間が一つでも多い年になりますように。

平成31年元旦マラソン開催

平成31年の元旦、この冬の冷え込みの中、29回
一番の幕開けとともに始
目となる下市田四区元旦マ
ラソンが開催されました。

新しい年をスタート
させるに相応しい行事
として地域に定着した
元旦マラソン。



世帯数104戸の
小さな自治会ですが、
まとまりの良さを生
かして、青壮年を中
心に組織された「漸
進会」によって計画
され、女性部の協力
を受け毎年実施され
ています。

当日は雲一つない
晴天の下、地域の方
はもちろん、正月で帰省さ
れている方、町内より毎年
参加されている方など、大
人から子どもまで72人の参
加で盛大に開催されました。
10時のスタートに向けて、
主催者である漸進会会長の
挨拶、分館長挨拶に続いて、
コース説明と諸注意の後、
全員で準備体操を行い、地
域内を一周する約3キロの
マラソンがスタート。



萩山神社から再スタート

年に1度の大切な行事



前半は、元旦らしく萩山
神社を目指します。

神社ではそれぞれ今年1
年の願いを込めてお参りし、
神社前から一路ゴールであ
る4区会所を目指して再ス
タート。

足に自信のある者、子供
と一緒に手をつないで走る
者など、それぞれのペース
でゴールを目指しました。

全員がゴールしたところ
で表彰式が行われ、参加者
全員に主催者が用意した豪
華賞品が一人一人に渡され
ました。

その後、女性部の皆さん
が早朝より準備してくれた
温かな豚汁をいただきなが
ら新春交流会が行われ、今
年が良い年となることを願
い、つつ親睦を深めました。

来年は30回目の節目を迎
える「元旦マラソン」です
が、地域の大切な行事とし
て今後も継続していきたい
と思います。

私に読書に目覚めたのは、
小学校6年生の時。親類先
に下宿していた担任の先生
からいただいた「芥川龍之介
全集」の一冊でした。日本が
敗戦直後で、本など買えな
かった時代。宝物のように
大切に、繰り返し読んで
きたことを、七十年過ぎた今
も鮮明に覚えています。

心に残ったのは「杜子春
と蜘蛛の糸」の短編でした。
「杜子春」の作品の舞台は、中
華賞品が一人一人に渡され
ました。

説 論

年も明け20
19年もスター
トした。平成31
年としては4月
30日の天皇陛下
退位、そして5
月1日の皇太子様の新天皇
即位により新元号に切り替
わること。それに伴い昨
年から大きな行事には「平
成最後の〇〇」の言葉をよく
聞くことに、平成最後の正月
も終わり早くも1ヶ月が過
ぎ平成は残り3ヶ月に。

今年も残り3ヶ月に。
天皇陛下が現在85歳、新
元号に即位される皇太子様
が58歳。一般企業に勤めて
いる人なら定年間の年齢
に、天皇陛下としてのご公
務とご執務を行う職務に就
元号は645年の「大化」

想する人が多く、アルファ
ベット表記にした時に「M・
T・S・H」以外の条件も
考えると「安久」が新元号
になるのではないかなどと
予想合戦が白熱している。

元号は645年の「大化」

「平成の終わりに想う」

回限りになるもよう。

天皇陛下が現在85歳、新
元号に即位される皇太子様
が58歳。一般企業に勤めて
いる人なら定年間の年齢
に、天皇陛下としてのご公
務とご執務を行う職務に就
元号は645年の「大化」

想する人が多く、アルファ
ベット表記にした時に「M・
T・S・H」以外の条件も
考えると「安久」が新元号
になるのではないかなどと
予想合戦が白熱している。

元号は645年の「大化」

元号は645年の「大化」



町民の数だけ心に残る本がある
読書と私・わたしの一冊②
人生の道標となるような感動した本との出会い、人に薦めたく
なる一冊、図書館の利用など、本にまつわる話のバトンが次の方
に渡されました。

芥川龍之介全集第三巻(昭和出版)

北村 重信

国・唐の都、洛陽の西の門の
下。杜子春は大金持ちの息子
でしたが、ぜいたくさんま
いで無一文になりました。
空腹で寝る所もなく、ぼん
やり空を眺めていた時、一
人の老人が現れます。

洛陽の西の門の下で三度、
老人と出会った杜子春は、こ
うお金はいらないから、弟
子にしてください」と頼み
ます。二人は一本の竹杖に
乗って天空の峨眉山へ。仙人
になるための修行で見たの
は、地獄で馬の姿になった
鬼たちに打ちのめされる亡
き父母の悲惨な光景でした。

杜子春は「どんな場面
でも、声を出したら仙人には
なれないぞ」という老人の
教えを守って固く目を閉じ、
じっと耐えていました。そ
の時耳に響いたのは「お前が
幸せになるなら、いつまで
も黙っておいで」。息絶え絶
えのか細い母の声でした。

遠い少年の日、恩師から
いただいた一冊の本が、私
の思想形成の原点となり、
読書好きになりました。我
が家の本棚には、セピア色
をした宝物の芥川作品が、
大切に収められています。
(図書館協議会委員 牛牧)

サイドブック・プレゼント

子どもたちの成長を祝い、
町から本を贈ることで家庭
での親子の交流を深め、本
に親しむ機会をつくるブツ
クスタート事業。1月22日、
北小学校1年生の教室で贈
呈式が行われました。

3歳と小学校1年生の
3回、本を贈っていま
す。南小学校は2月14
日が贈呈式です。

図書館であなたの夢を叶
え、課題を解決する！
《講師》
鳥取県立図書館 支援協力課長
小林 隆志さん
地域に密着した起業サポー
トなど、ビジネス支援の多
数の事例から図書館の活用方
法を聞きます。
《特別報告》
海を渡る市田柿
産業課 丸山 真史さん

「お詫びと訂正」

前号ニュースポーツ
体験会の記事にて指導
員のお名前の誤りがあ
りました。
訂正してお詫びいた
します。

正・龍口 俊久さん

高森町では生後7ヶ月、

お知らせ
ビジネス応援講演会
3月10日(日)午後3時より
福祉センター大ホールにて

お知らせ
ビジネス応援講演会
3月10日(日)午後3時より
福祉センター大ホールにて



お知らせ
ビジネス応援講演会
3月10日(日)午後3時より
福祉センター大ホールにて

お知らせ
ビジネス応援講演会
3月10日(日)午後3時より
福祉センター大ホールにて